

第4章 協働プロジェクト

環境問題に取り組むためには、環境保全活動への関心や参加意欲の向上、環境保全活動を担う人材や組織の発掘・育成などが求められます。こうしたことから、第2次環境基本計画の中で市民・事業者と市が協働して取り組む「協働プロジェクト」を位置づけています。

「望ましい環境像」の実現に向けて協働プロジェクトを推進することにより、環境問題への関心の拡大、環境活動への参加拡大、地域コミュニティの活性化、町会・自治会と環境保全活動団体の連携拡大を図ります。

協働プロジェクトの評価は、市で把握できる市民・事業者との協働による活動実績（評価指標として参加者数、活動箇所数や参加世帯数など）及び活動状況などについて把握し、5つのプロジェクトごとに結果をとりまとめ評価します。

第1節 里山復活プロジェクト

私たちの生活の身近な場所にある里山・谷戸や斜面緑地など、貴重なみどりの機能を回復することが重要です。地下水かん養や生物多様性の保全など、みどりや水辺の持つ多面的機能の回復をめざします。

	30 年度実績
評価指標	戸吹環境教育・学習拠点整備事業（活動箇所 1、受講者 10 人 前年比 4 人減） 上川の里特別緑地保全地区整備（活動箇所 1、参加者延べ 941 人 前年比 459 人減） 公園アドプト制度（活動箇所 11、登録者 1,370 人 前年比 195 人減）

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

＜市内部での総括評価＞

里山復活プロジェクトに該当する事業が環境政策課、環境保全課、水環境整備課、公園課の4所管において行われている。参加者数は、イベントの開催状況や天候に左右されるが、各事業とも地域の自然環境を活かした環境教育・環境学習の場として活用している。

＜今後の展開＞

市民・事業者・市が協働し、環境教育・環境学習の場として活用していくとともに里山等の保全について啓発を行う。

＜環境推進会議での相互評価＞

多くの里山で活動が行われており、環境学習の場所としても活用している。さらに、市民・事業者・市との協働による維持管理や活用に努めていただきたい。



第2節 生ごみ資源化促進プロジェクト

「循環型都市八王子」の実現には、一層のごみの減量・資源化が重要です。生ごみの減量・資源化のため、地域の特性に応じた生ごみの地域循環を促進します。

	30 年度実績
評価指標	ダンボールコンポスト講習会（参加者 420 人 前年比 14 人増） コンポスター、密閉式容器による生ごみ資源化講習会（参加者 20 人 前年比 14 人増） 生ごみ減量化処理機器等の購入費補助件数 （681 件 前年比 141 件減）

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

＜市内部での総括評価＞

各家庭へ生ごみの資源化を普及するため、ダンボールコンポストをはじめとする生ごみの資源化手法を、八王子市生ごみリサイクルリーダーが講師となって、講習会を実施している。小学校への出前講座を行うなどの取組もあり講習会参加人数が増となった。補助件数に関しては、補助単価の高い電気式生ごみ処理機の件数が 127 件（前年比 35 件増）となったため、総件数は減ったが、補助金の執行率は 99.9%と高いものとなった。

＜今後の展開＞

取組者が継続できるように経験者向け講習会、交流会を案内し、横のつながりを充実させていく。設置型コンポストなどのダンボールコンポスト以外の生ごみ資源化手段についても継続して講習会を行い、地域特性に応じた生ごみ資源化の取組を推進し、取組世帯数の増加を目指す。

＜環境推進会議での相互評価＞

地域で簡単に取り組めるダンボールコンポストは、生ごみを資源化する大事なツールのひとつである。市民が自分に合った方法で、生ごみの資源化に取り組めるよう様々な手法を検討していただきたい。



第3節 省エネ応援プロジェクト

地球温暖化を防止するためには、一人ひとりがCO₂排出量の削減に取り組んでいくことが重要です。家庭や職場、地域などで省エネ知識を高め、簡単に継続的に取り組める省エネ行動を応援します。

	30 年度実績
評価指標	家庭における省エネの推進(はちおうじ省エネ国の会員[4,147世帯]前年比283世帯増)

基本施策の評価： 目標を達成した

<市内部での総括評価>

地球温暖化防止活動推進員同士でブラッシュアップ学習会を実施し、「家庭の省エネエキスパート検定」取得に取り組むとともに、講座やイベントを通じて省エネに関する知識の普及啓発を図った。また、環境フェスティバルや地球温暖化防止普及啓発イベントなどで、はちおうじ省エネ国の参加登録を募り、前年比7%増となった。

<今後の展開>

地球温暖化防止活動推進員の地域での活動の幅を広げ、市域全体に展開していく。また、はちおうじ省エネ国への参加を募ることにより、継続的に省エネ活動を実施する世帯を増やす。

<環境推進会議での相互評価>

省エネ国の会員を増やすため、イベントでの会員募集などに加え、町会・自治会に働きかけるなど、全市に広がるような取組となるよう努めていただきたい。



第4節 環境教育サポートプロジェクト

環境問題を解決していくためには、一人ひとりが問題を認識・理解し、行動することが重要です。小・中学校における総合的な学習の時間などを活用し、学校での環境教育を支援します。

	30 年度実績
評価指標	環境教育支援事業（実施 18 校、授業を受けた児童・生徒延べ 3,097 人 前年比 1,657 人増）
	自然観察会（参加者 94 人 前年比 20 人増）
	八王子浅川水辺の楽校（授業を受けた児童・生徒延べ 315 人 前年比 29 人増）
	八王子市小学校科学教育センター事業（センター生に登録した児童 132 人 前年比 31 人増）
	北野環境教育・学習拠点づくり（環境施設の社会科見学及び職場体験で受け入れた児童・生徒延べ 3,162 人 前年比 236 人増）

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

＜市内部での総括評価＞

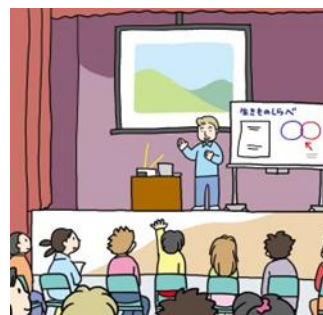
児童・生徒を対象とした環境学習を、地域の人材を活用して5所管が実施している。里山や河川などでの体験学習のため、天候などにより参加人数は増減するが、計画に沿った事業を実施した。

＜今後の展開＞

30年度に作成・配付した環境教育プログラムガイドブックを活用して環境教育を推進することで、小・中学生の環境意識の向上を図る。

＜環境推進会議での相互評価＞

小・中学生への環境教育は非常に重要な取組であるため、環境教育プログラムガイドブックを活用するとともに、引き続き各所管が連携を図り、市民・事業者・市の協働により環境教育を進めていただきたい。



第5節 地域の環境美化プロジェクト

まちの美化を進めるためには、モラルやマナーを守り、都市の美観を保持することが重要です。市民・事業者が、清潔できれいな地域の環境づくりに取り組めるよう支援します。

	30 年度実績
評価指標	道路アドプト制度（登録者 4,203 人 前年比 15 人減）
	公園アドプト制度（登録者 19,315 人 前年比 84 人増）
	水辺の水護り制度（登録者 23 団体 424 人 前年比 14 人増）
	落書き消去活動（参加者延べ 10 人 前年比 30 人減）
	生活安全パトロール（参加者延べ約 500 人 前年に同じ）
	違反屋外広告物除去活動（参加者延べ 145 人 前年比 95 人減）
	八王子中町・花街の街並みの維持活動（30 年度実施せず）
	市民緑化支援事業（協力 15 団体 前年に同じ）
	花づくり事業（会員 60 人 前年と同じ）
	戸吹清掃美化委員会（参加者延べ 192 人 前年比 48 人増）
	慰霊塔清掃（参加者延べ 136 人 前年に同じ）
	老人ホーム跡地美化（参加者延べ 1,250 人 前年に同じ）
	みんなの町・川の清掃デー（参加者 21,988 人 前年比 1,195 人減）
	南浅川にぎわいづくり（参加団体 23 町会 前年に同じ）

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

<市内部での総括評価>

まちの美化をすすめるために 12 所管で 16 事業を行っている。屋外での活動となるため参加者数は天候に左右されるが、事業者、町会・自治会、学校、個人、環境保全団体などが協働し、様々な活動が展開されている。

<今後の展開>

町会・自治会や事業者と協働して清掃やイベントを開催することにより、さらなる地域の環境美化意識の高揚と地域コミュニティの推進を図る。

<環境推進会議での相互評価>

多くの市民ボランティアが継続して美化活動に努めていることは評価できる。これらの美化活動が継続できるよう市は支援し、さらに多くの市民が参加できるように努めていただきたい。

